

いぎいき美浦に人咲く 夢咲く 福祉咲く



美浦村

2015.7.1

Vol.

66

# しゃきようだより

特集

戦時下の美浦と茨城

戦後70年 教科書には載らない

平成26年度事業報告  
三世代輪投げ大会  
土屋地区に栄冠

朗読ボランティア  
養成講座開催

新垣結衣主演  
「くちびるに歌を」  
8月8日(土)  
中央公民館で上映

表紙

## 三世代輪投げ大会

世代間の交流を深めるこの大会、写真の吉澤瑠香さん（木原小）のチームは、お母さんとおばあさんが一緒に参加してくれました。



美浦村しゃきようだよりの発行は赤い羽根共同募金の配分金事業で行われています。



## 特集

## 戦後70年

## 帝都防空が茨城の役割

茨城県は首都東京に近く、長い海岸線を持つという地理的条件から、東京を空襲から防ぐための帝都防空の役割を担っていました。県内には阿見や百里ををはじめとした多くの飛行場が建設され、軍の部隊・航空隊が設置されてきました。そのため海軍航空隊への志願者が多く、阿見にあった「予科練」でパイロットになる訓練を受けていました。

## 戦場へ10万人

日米開戦で戦線が広がるにつれ、県出身の兵士が戦地へおもむく数は増大します。満州事変以降に兵士・軍属として戦争に参加した県民は10万人で、うち5万人以上の方が亡くなりました。

## 疲弊する美浦の農村

当時農村地域であった美浦は、労働力の中心であった成人男性は徴兵と軍需工業へ流出し、農機具・肥料の不足のため、生産性は著しく低下しました。その一方で、食料供出制度による増産をせまられ「欲しがりません勝つまでは」

「かゝたぐは敵だー」といった精神主義による耐乏生活を強いられました。

## 教科書には載らない 戦時下の美浦と茨城

茨城や美浦でも戦争により多くの方が犠牲となりましたが、その詳細を知る人は多くありません。戦時中、我々の住むこの地ではいったい何が起きていたのでしょうか。

## 美浦の戦跡

## 鹿島海軍航空隊（大山東部）

村の北東部にある大山東部は、北側と東側が湖に面しており、風向きに左右されることなく水上機が飛び立てる為、昭和13年に霞ヶ浦航空隊安中水上隊が開隊され、水上機の訓練基地として多くのパイロットを養成していました。昭和20年に練習航空隊から鹿島航空隊となり、本土防衛を主な役割とし、戦闘や襲撃で数十人の方々が亡くなりました。終戦後はその役目を終え、その跡地は現在、国の環境研究施設や村のメガソーラー発電所となっています。

- (上) 鹿島海軍航空隊の基地上空を飛翔する中島2式水上戦闘機  
(下) 安中村の上空を編隊飛行する九三式水上観測機  
(共に『東京医科歯科大学霞ヶ浦分院史』平成4年より)



## 木原送信所（木原）



現在の木原の福祉センターと野球場には、昭和17年頃に木原送信所が建設され無線通信を行っていました。地形は見事な正五角形で、各頂点に高い鉄塔が立ち、遠くは南方まで無線通信をしていたようです。また、横須賀地区（現在の大須賀津関東農産(株)付近）には監視塔が建てられ、敵機発見時には、村役場や軍に通報をして村の安全を守っていました。

見事な正五角形の道路の一部は今でも残存（美浦村誌より）

～知っていました？ B29は美浦を空襲していたことを～

「未来に託す詩」  
「美浦平和のつどい記録集」

戦後70年となり、当時者から話を聞くことが難しい現在、村の人たちが自分の言葉で戦争体験を詳細に語っているこの2冊は、自分の郷土でも戦争被害が起こっていたことを知る貴重な資料であり、戦争を身近な出来事として考えることのできる良質な教科書です。



中央公民館図書室で閲覧・貸出可能です



## 茨城・美浦の戦争被害

昭和20年3月10日の東京大空襲の後、米軍は目標を中小都市に切り替え、茨城も大きな攻撃を受けました。霞ヶ浦海軍航空隊などの軍事施設が多く存在する阿見地方は空襲の標的とされ、6月10日のB29による土浦・霞ヶ浦空襲では307人が亡くなり、舟子地区でも5人の命が奪われました。同日に日立市の軍需工場にも大規模な爆撃が行われ、1,275人が亡くなりました。翌7月にも日立地区は爆撃を受け1万戸を超える建物が全焼し、8月初旬には水戸市に167機のB29が来襲。爆撃により5万人を超える人々が建物焼失などの被害にあいました。

### 慰霊碑に刻まれた戦没者

慰霊碑	戦没者
舟子	26
木原	183
安中	135
合計	344

木原は郷中・大須賀津・宮地・茂呂・受領・余郷・大谷・信太・興津・布佐・土屋を含む

### 戦没者内訳

軍人・軍属	326
民間人	18



木原慰霊碑（郷中）

## 慰霊の心 次世代に継ぐ

### ～美浦村遺族会長に訊く～

私の父は江戸崎の出身で昭和19年9月10日、インドネシアのセレベス島メナド町で、防空壕で避難しているところを爆撃され戦死しました。当時私は2歳だったので父の記憶はなく、残された写真だけが私の知る父の姿でした。母一人一人となった私たちは、母の実家である木原に戻り、祖父母と叔父夫婦とその子ども5人の11人家族で暮らしました。実家は農家でしたが、母は和裁の講師をしていたので、それで生計を立てていました。昭和24年に木原小学校（現在の木原保育所に存在）に入学した当時の物資は配給制で、食べ物も着るものも切符がないと買えません。米は供出に取られ、ほとんど食べることができませんでした。野菜や小麦を栽培し、如来寺近くにあったパン工場に小麦を持っていき、パンと交換をしていました。肉は年に数回しか食べられませんでした。

舟子に爆弾が落ちた跡がため池となっていて、カエルを餌にしてナマズや雷魚を釣ったり、ドジョウや鮒を捕まえては煮て食べていました。当時の子どもは働くのが当たり前で、田や畑の作業から家の掃除や手伝いまで、人の役に立つことは何でもしていました。周囲と仲良く暮らしていましたが、やはり父のいない生活は辛く、「なぜ父だけが戦死をしたのか」と母に聞いたことを覚えています。

時が流れ、実家を離れて就職し、家建て、母と妻と2人の子の5人家族で暮らしていた昭和60年、父の戦友の計らいで、父の戦死したセレベス島を訪問する機会に恵まれました。父が無念の死を遂げてから41年。父



毎年8月13日には慰霊碑献花を行い、戦没者を追悼

が埋葬された場所を訪れることができ、感無量でした。そして、戦争だけは二度としてはならないと感じました。

村遺族会では毎年8月に、村内3ヶ所にある慰霊碑の清掃・献花を行い、戦没者の追悼を行っています。現在の日本の平和と繁栄は、戦争で亡くなった方々の犠牲の上に成り立っているという想いを子や孫の世代に繋いでいくことが、私たち遺族会の役割だと考えています。



宮本亮（あきら）氏 山戸丁在住  
2009年より村遺族会会長を務める。



# 平成26年度社会福祉協議会事業報告

## ◆地域の福祉力向上

### ○社会参加推進

住民が地域社会に参加し、仲間を作ることでいきいきとした人生を送ることを目的としたサロン活動を支援（5団体に助成）することで、介護予防や閉じこもりの防止を行いました。また、普段、映画館に行く機会が少ない方に対して、みんなで一緒に映画を見る機会を提供する「いきいき映画上映会」（そして父になる）を上映）を開催しました。

### ○福祉交流活動

行事を通して世代間交流を深めることを目的として、親・子・孫が輪投げを通して交流する「三世代ふれあい輪投げ大会」（169人）、餅つきなどの昔の行事を通じて高齢者と児童が交流する「歳末もちつき交流会」（80人）、親子の絆を深め、体験活動に参加する重要性を親子で認識する「いきいき親子体験バスツアー」（31人）の行事を開催しました。

### ○地域ケアシステム推進事業

地域で支援を必要としている在宅の高齢者や障害者などにケアチームを編成し、保健・医療・福祉機関との総合的な調整を行うことで必要なサービスが提供されるよう支援しました。

### ○福祉教育活動

福祉への理解と関心を深め、思いやりの心を育成するため、木原／大谷／安中小学校で車いす教室や高齢者疑似体験教室を行うと共に、福祉教育の推進助成金を支給しました。



安中小で高齢者疑似体験

### ○広報事業

福祉情報の提供と福祉意識の啓発を目的として、社協だよりの発行（年4回）、ホームページの運営、イメージキャラクターみほちゃんの着ぐるみ化を行いました。

### ○その他の関連事業

・地域福祉団体の支援（6団体）

### ◆児童・高齢者・障害者福祉

#### ○高齢者祝賀

永年にわたり社会に貢献された高齢

者の長寿等を祝福することで、福祉の増進を図ることを目的として、敬老会（村と共催 292人）、村内最高齢者祝、喜寿祝（74人）、金婚祝（13組）を実施しました。

### ○歳末たすけあい支援

支援を必要とされる方々が温かな年末年始を迎えることを目的として、商工会発行のクーポン券やシルバー人材センター利用券の贈呈（計223世帯）を行いました。また、助け合い・支え合いを目的とした事業を行った1団体に助成金を支給しました。

### ○サンタ訪問

支援を必要とされる母子・父子・障害者世帯に対し、サンタクロースがお宅を訪問し、お菓子をプレゼントしました。（26世帯）

### ○小学校入学祝品の贈呈

表面は障害者マーク、裏面は各校歌をデザインした下敷きを、村内小学校及び美浦特別支援学校初等部に入学する児童141人に贈呈しました。

### ○自立支援センター ホープ

就労が困難な障害者が、地域社会で自立ができることを目的として、内職や生活訓練を中心とした通所事業を実施しました。（25人）

### ○見守り配食サービス

独居高齢者の健康増進と安否確認を

目的として、民生委員やボランティア、福祉団体等の協力を得て、59人へ月2回（年24回）夕食用の弁当を配達しました。

### ○福祉用具・車両貸出

高齢者や障害者等の生活の質が向上することを狙いとして、車イスおよび、車イスが乗れる福祉車両を計17回貸し出しました。

### ○シルリハ体操指導士会運営支援

村内における高齢者の介護予防推進を目的にしたシルバリーハビリティ体操指導士会の事務局として、指導士の活動を支援しました。

### ○おもちゃ図書館

障害の有無にかかわらず、子どもがおもちゃをとおして遊び育つ場を提供するため、福祉センターでおもちゃ図書館を運営しました。



おもちゃ図書館は第2／4土曜日開催



### ○日常生活自立支援事業

認知症の高齢者、知的・精神障害者等で判断能力が十分でない方の福祉サービスの利用援助や、日常の金銭管理等を行いました。

### ○地域見守り活動

地域の安心・安全の確保を目的に、村老人クラブ連合会と連携し「みほ見守り隊・老連」を発足し、27地区で延べ1935人が、下校児童・ひとり暮らし高齢者の見守り活動を行いました。



「おかえりなさい」下校児童に声かけ

### ◆ボランティアの育成・活動支援

#### ○ボランティア活動基盤づくり

ボランティアをしたい人と頼みたい人を上手に結びつけるため、ボランティアセンターで、地域のボランティア活動の支援・育成および村ボランティア連絡協議会の事務を行いました。(団体登録34団体395人、個人登録36人)

### ◆子育て支援

#### ○いきいき子育て支援金

子どもを安心して生み育てることのできる環境づくりを支援することで地域の活力が生まれるよう、村内在住で1〜3歳の第3子以上を養育する家庭に対し、支援金を33人に支給しました。

### ○ひとり親家庭支援

経済的負担を軽減し、児童・生徒の健全な育成のため、小学校・中学校に入学するひとり親家庭へ入学祝金を3人に贈呈しました。

### ◆心配ごと・法律相談

村民の悩み事・心配ごとを解決することを目的に、心配ごと相談を月2回、弁護士による法律相談を月1回開催しました。

### ◆善意銀行・やまゆり基金運営

善意を持って寄せられた金品を受け付けており、958,268円の寄付金と69件の寄付品をお預かりしました。また、村内の商店・施設に依頼して、募金箱を17ヶ所に設置して、みなさんのご協力をお願いしました。

### ○被災世帯へ見舞金の支給

自然災害や火災等の被害を受けた被災者3件に、見舞金を支給しました。

### ◆低所得者等福祉対策

#### ○生活福祉資金貸付・小口資金貸付

低所得世帯や高齢者、障害者の自立・生活の安定を目的として、民生委員等の

関係機関・団体の協力のもとに資金の貸付事業を行いました。

### ◆介護保険事業

#### ○通所介護

美浦村デイサービスセンターにおいて送迎を行い、食事や入浴、排泄の介助機能訓練(リハビリや口腔ケア)、レクリエーションなどのサービスを行いました。その他、毎月の誕生会や季節のイベントなども開催しました。(利用者のべ約7400人)



デイサービスのレクリエーション

### ○訪問介護

ご自宅へホームヘルパーを派遣して、家事援助や身体介護を提供しています。(利用者のべ約2千人)

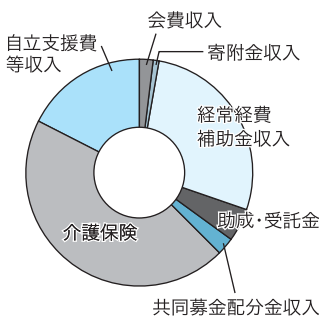
### ○居宅介護支援

介護保険サービスを利用される方の「介護サービス計画」の作成、相談、連絡調整を行っています。(利用者のべ約700人)

## 平成26年度決算報告

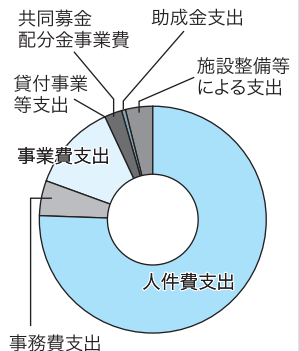
### 収入の部

	金額(円)
会費収入	3,213,000
寄附金収入	958,268
経常経費補助金収入	40,538,908
助成・受託金	7,095,809
共同募金配分金収入	3,613,798
介護保険	66,221,120
自立支援費等収入	25,799,830
施設整備等による収入	1,260,000
財務活動による収入	3,288,600
その他	10,692,835
前期末支払資金残高	53,776,909
収入計	216,459,077



### 支出の部

	金額(円)
人件費支出	109,566,415
事務費支出	7,385,262
事業費支出	17,985,512
貸付事業等支出	100,000
共同募金配分金事業費	3,800,584
助成金支出	574,000
施設整備等による支出	5,543,254
財務活動による支出	5,988,178
当期末支払資金残高	65,515,872
支出計	216,459,077





# 栄冠は土屋地区に

## 三世代輪投げ大会

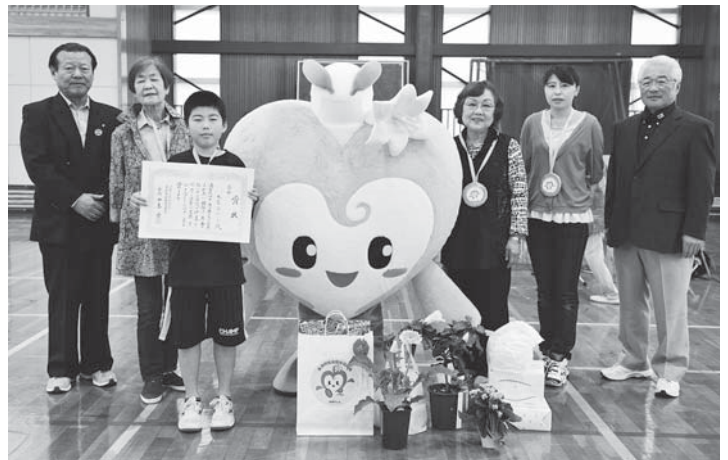


世代間の交流を目的とした三世代輪投げ大会（協力：村老人輪投げクラブ）が6月7日、木原の農トシで行われ、全36チームが熱戦を繰り広げました。小学生、保護者、高齢者が地区ごとにチームを組み、和気あいあいとした雰囲気の中、仲間の一投に一喜一憂しながら、輪投げ競技を楽しみました。

### 優勝 土屋Dチーム

（敬称略）

稲見弥生、丸形涼太、丹内達子、丸形亜希子



## 「朗読ボランティア養成講座」受講者募集

本や広報誌などを音声にして伝える音訳や朗読の基礎を学び、目が不自由なことで生じる生活のしづらさについて理解します。

ボランティアしてみたい、人前で話すのが苦手、滑舌をよくしたい、面接に役立たいなど、自分自身のスキルアップの機会にしてみませんか！

回数	日 時	内 容
第1回	8 / 4 (火)	☆朗読の注意事項、息・声の鍛え方 ☆母音・子音の練習、アクセント・鼻濁音の練習、滑舌 ☆文の意味のとらえ方、正確な伝達、文の組み直し方 ☆話すように読む、緩急・強弱・明暗等の表現、会話体の表現 ※基本的な発声～発音～表現方法について学びます。
第2回	8 / 11 (火) 13:30	
第3回	8 / 18 (火) ~ 16:30	
第4回	8 / 25 (火)	

**◆開催場所**

美浦村中央公民館 2階 学習室

**◆講 師**

高橋 洋子先生（取手市）

**◆募集人員**

朗読ボランティアに関心がある方 20名程度

**◆受講料**

無料

**◆申 込**

7月24日（金）までに社会福祉協議会へ（電話申込可）。



# 大切にします！あなたの善意 (敬称略)

〈平成 27 年 4 月 15 日～平成 27 年 6 月 15 日寄付分〉

## ◇善意銀行

稲敷農業協同組合…………… ¥5,000  
 募金箱 (る・ぱるく)…………… ¥19,033

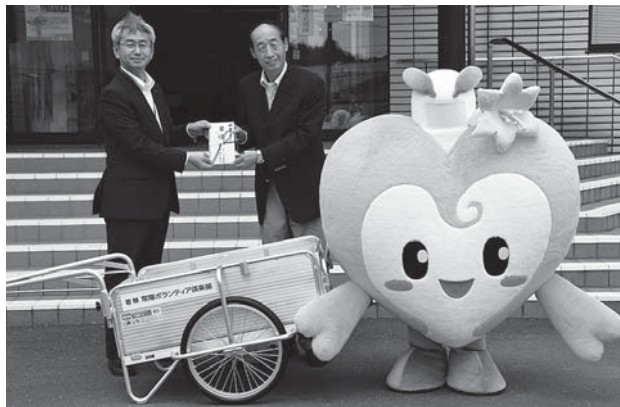
## ◇物品寄贈

栗山工業株式会社 (プリペイドカード)  
 常陽ボランティア倶楽部 部長 酒井健司 (リヤカー)

## ◇古切手・使用済みプリペイドカード

栗山工業株式会社／江口 昌一／匿名 (3 件)

美浦村社会福祉協議会では、寄付金の他、古切手や使用済み  
 テレフォンカード、書き損じ葉書を受け付けています  
 ※古切手を収集の場合、切手のまわりの余白を 5 ミリ～1 セン  
 チ位残して切り取り、日本切手と外国切手に分けてください



常陽ボランティア倶楽部様より



## 見守り配食サービス



70 歳以上の独居高齢者で見守りが必要とされる方に、食生活の支援と安否確認を目的として、ボランティアの方による手作りのお弁当を民生委員やボランティアが月 2 回お届けします

【お問い合わせ】TEL：885 - 7080 担当 増尾



## 車いす／福祉車両貸出

高齢者や障害者等の外出支援として、車イスや福祉車両 (車椅子用リフト付車両) を貸出します

◇福祉車両利用料金 (車イスは無料)

保険料 (1 日 500 円) + 走行距離 (1 km x 14 円)

【お問い合わせ】TEL：885 - 0038 担当 木村



## 美浦村おもちゃ図書館



世界中で長く愛されている良質のおもちゃたちが、あなたのお子さんに遊んでもらうのを待っています

- ◇対象 美浦村にお住まいの障害児／未就学児
- ◇開催日 毎月第 2 / 第 4 土曜日  
午前 9 時 30 分～11 時 30 分
- ◇場所 美浦村老人福祉センター
- ◇内容 おもちゃでの遊び  
おもちゃの貸出

## 社協の相談事業 《無料・要予約》

会場：老人福祉センター ◎予約受付 TEL：885 - 7080  
 担当：増尾

### 心配ごと相談所

相談日：第 1・3 月曜日

(祝祭日の場合は翌営業日。※年末年始を除く)

時間：午後 1 時 ～ 3 時

### 弁護士による法律相談

7 月 相談日：7 月 22 日 (水) 予約開始：7 月 1 日 (水)

8 月 相談日：8 月 26 日 (水) 予約開始：8 月 3 日 (月)

9 月 相談日：9 月 30 日 (水) 予約開始：9 月 1 日 (火)

時間：午後 1 時 30 分 ～ 午後 4 時



## いきいき子育て支援金



子供を安心して産み育てる事の出来る環境作りのため支援金を支給しています

- ◇対象 第 3 子以降の子を養育している親権者 1 名
- ◇条件 美浦村に住所が 1 年以上あること など
- ◇金額 1 歳児 / 2 歳児 年 3 万円  
3 歳児 年 2 万円
- ◇注意点 自己申告になります。申請期限があります

詳しくは

「いきいき子育て支援金」で

### 社会福祉法人

美浦村社会福祉協議会・  
美浦村デイサービスセンター

〒300-0424

茨城県稲敷郡美浦村受領 1546-1

TEL：029-885-0038

(社会福祉協議会事務局)

：029-885-8885

(美浦村デイサービスセンター)

FAX：029-840-4552

ホームページ

：http://www.mihoshakyo.jp

### 美浦村老人福祉センター・

ボランティアセンター・  
美浦村自立支援センター「ホープ」

〒300-0421

茨城県稲敷郡美浦村木原 150-2

TEL：029-885-7080

FAX：029-885-1042

(福祉センター・

ボランティアセンター)

TEL：029-885-6010

FAX：029-886-3633

(自立支援センターホープ)

※これらの事業は赤い羽根共同募金の配分金／社協  
 会費を財源として行われています